



平成30年度5月号

朝二中だより

朝霞市立朝霞第二中学校

平成30年5月1日発行

〒351-0007 朝霞市岡199

TEL 048 (461) 6540

Fax 048 (467) 4742

自慢できることは何ですか

校長 杉山 巖

新学期がスタートし、早くも1か月が経過しました。各学年、各学級とも新しい仲間とのふれあいや新鮮な雰囲気の中で、学校生活が順調に進んでいるようです。2、3年生にとっては新しい後輩を迎え、部活動も本入部となり、学校総合体育大会に向け思いを強くしているところでしょう。1年生はすべてが新鮮な出会いの中、希望あふれる毎日だと思います。

1か月といいましたが、先日の学校朝礼で話をしたように、4月の登校日は、15日、たった15日しか、中学校には登校していません。なのに、もうずいぶん過ごしている気分ではないでしょうか。中身の濃い充実した毎日だからこそ、時間が過ぎるのが早く感じられるのだと思います。集会等の行事だけでも始業式、入学式に始まり、全校集会や学年集会、生徒会オリエンテーション、学校朝礼等数多くありました。

全校集会の中では「栽培活動」の話がありました。

朝霞二中の特色のひとつに「栽培活動」があります。栽培活動の本格的な始まりは、40年近く前の荒れた時代といわれていますが、二中の学校教育目標でもある「**勤労を尊ぶ**」ことができるように、**働くことの大切さを学**べるように、そして、**学校全体で達成感を味わえる**ように全校での取組としています。

各学級で清掃時に一班、学級花壇整備担当の班を作り必ず栽培活動に関わります。自分達の学級花壇を自分たちの手で作る。落ち葉から腐葉土を作り、土を耕して、種をまき、花を咲かせ育てる。土を造るところから全員で栽培活動に取り組む。そして、学級花壇の花を見て感動してくれる人を増やす。そんな活動です。

また、「**無言入場・無言退場**」の話もありました。二中では朝礼や集会時、体育館への入退場する際に「無言入場・無言退場」を実施しています。なぜ、無言でなのか、いろいろな先生方の思いはありますが、集団で行動する際の「**マナーと環境を整えるため**」そして「**次を考えるため**」と担当から説明がありました。単に規律を守るためだけでなく、次の行動に生かすための無言の行動です。

昨年、3年生の入試のための面接練習で「**あなたの学校の自慢できることは何ですか?**」と実施したすべての生徒に聞きました。「栽培活動」や「無言入場・無言退場」を述べる生徒も何人かいましたが、「どんな活動でしたか?」「何のためにやっているのですか?」と深く聞くと口ごもる生徒も何人かいました。**あなたの学校の自慢できること=あなたが真剣に取り組んだこと**といっても良いでしょう。日々の活動を自分のものとして受け止め、実行したとき、それは自慢になっていくはずです。

学年が終わるとき、卒業するとき、「あなたの学校の自慢できることは何ですか?」この問いに自信を持って答えられる学校生活になることを期待しています。